

# 全労金2017春季生活闘争ニュース・第18号

《合意速報No. 2》

## 長野労組が金庫との団体交渉で、基本合意を表明しました！

長野労組は、3月28日午前9時から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求			回 答		
	正職員	準職員	パート職員	正職員	準職員	パート職員
		2017年4月から 正職員	2017年4月から アシタノ職員		2017年4月から 正職員	2017年4月から アシタノ職員
安定雇用	—	(無期雇用)  (登用制度は実現)	(無期転換権は実現)	—	(無期雇用)  (登用制度は実現)	(無期転換権は実現)
最低賃金	時間額950円、日額6,970円、 月額146,300円への引き上げ			<b>要求通り</b>		
基本賃金	2017年4月から新人事賃金制度に移行し、2年目960円、 3年以上で1,000円未満の職員は1,000円とし、2016年度 評価を加算することを確認しているため、要求しない			—		
一時金	4.7	4.7	2.4	4.6	4.6	2.4
昨年実績	4.6+10,000	4.6+10,000	1.2~2.7			
雇用環境	—	—	私傷病欠勤 ・休職制度	私傷病： <b>2017年度中の制度化を検討し、継続協議</b> ジョブリターン： <b>2017年度中の制度運用開始について、継続協議</b>		
単組独自要求	積立休暇制度の使用目的に「不妊治療」を追加 「育児に伴う所定労働時間の短縮措置」を 小学校3年生までとする			積立休暇制度に「不妊治療」追加： <b>要求通り</b> 「育児に伴う所定労働時間の短縮措置」： <b>応じられない。</b> <b>ただし、取得状況を精査の上、2017年度中に職場環境 の整備に向け協議を開始する。</b>		

団体交渉において、金庫からは「これまで計6回の小交渉を積み上げ、本日、基本合意が表明されたことに感謝する。労金運動・労働運動ともに勤労者の経済的福祉の向上をめざしている。とりわけ、労働金庫においては、労使の信頼感のもと、同じ方向を向いて、協同して共通の目的の実現のために行動していくことが求められる。要求に対して満額回答ではないが、2017年度から『100年続く長野労金ビジョン』のもと、『はたらき方改革』等を進める。制度要求・職場の条件改善については、ともに知恵を絞り、働きやすい環境改善に向け、引き続き努力していく。今後も立場は異なるが、ともに長野労金の前進と発展に向け努力していきたいと考えるため、今後ともよろしくお願ひしたい」等の見解が表明されました。

大澤闘争委員長は、「次年度以降も金庫が置かれる状況は大変厳しいことの認識を共有したと考える。その中で、一時金については、要求通りではないものの、職員の頑張

りを評価し、金庫として最大限の判断をした結果と受け止める。最低賃金については、『底上げ・底支え』に拘る労組の考え方を理解し、回答したものと考えている。ジョブリターン制度については、制度導入は労使にとって有益であるとの共通認識に立ったうえで、次年度中の制度運用開始に向け継続協議を行うことは前向きに受け止めている。私傷病欠勤・休職制度については、現在対象の組合員が存在している中、これまで以上に安心して働き続けるために前向きな制度検討に向け、労使間で継続協議となったと考えている。年休積立制度の使用目的に『不妊治療』を追加することについては、導入後の職員の意識とサポートし合える職場環境が重要と考えている。最後に、『子の育児にかかる時間短縮措置』の期間延長については、大変遺憾ではあるが、金庫は決して後ろ向きでないことは回答書より感じた次第である。次年度は、今年度以上に大変厳しい環境下でチーム長野労金として全役職員とその家族の幸せを応援する活動を進めていく必要がある。そのためには、全役職員が健康で安心して働き続けられる職場環境が必要である。その環境づくりに向けて労使で引き続き議論をしていきたい」等を表明しました。

単組は、①最低賃金の引き上げについて、要求どおり 950円に引き上げられたこと、②一時金について、i 正職員は満額回答ではないものの、職員の奮闘を認め、金庫として最大限の判断が示されたこと、ii アシスタント職員は要求どおりとなり、支給基準をこれまでの年間 2.2ヶ月から 2.4ヶ月へ引き上げることができたこと、③ジョブリターン制度や私傷病欠勤・休職制度については、継続協議扱いではあるものの、制度導入に向け一定程度前向きな協議を進めていける感触を得たこと、④年休積立制度の使用目的に「不妊治療」を加えることが実現できたこと、⑤時短延長については、「特別な個別事情があれば、職場の状況も勘案したうえで、配慮していきたい」との考えを引き出すことができたこと、等から基本合意を判断しました。

\*合意単組：2単組（3月28日11時40分現在）

中央・長野

以 上